

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：社会福祉法人宇和島厚生協会 みどり寮	種別：児童養護施設
施設長氏名：谷松 和良	定員： 50名
所在地：宇和島市住吉町1丁目5番11号 TEL 0895-22-1889	

### ③実施調査日

平成26年8月29日（金）～ 30日（土）

### ④総評

#### ◇特に評価が高い点

児童養護施設みどり寮は、宇和島市民生委員会有志による宇和島市民生事業団によって昭和25年に設立され、昭和28年に養護施設の認可を受けると同時に運営主体は宇和島厚生協会となり、昭和30年に社会福祉法人の認可を受け今日に至っている。

平成15年に県内初の「こども家庭支援センターみどり」を立ち上げ、地域の子どもや家庭に対する支援を開始した。

また、平成17年には「地域小規模児童養護施設子どもの家すみよし」による地域小規模ケアを開始し、施設主催の地域交流行事を定期的に開催する等児童や地域に関わる積極的な取り組みが行われている。

平成21年1月には福祉サービス第三者評価を受審し、評価結果に基づきサービスの向上や充実に努める等、積極的な姿勢は高く評価できる。

#### ◇改善が求められる点

提供するサービスについて系統立てて整理し、それらを実施するためのマニュアルや要領を文書化するよう期待したい。

また、運営理念や基本方針の整備、中・長期計画とそれらに基づく事業計画の作成などを行い、より一層サービス内容の充実を図るよう期待したい。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回の第三者評価を受審した中で、当施設が今日まで“地域とともに”という姿勢を評価して頂いたことは嬉しく思います。

今後においても、職員一人一人が職務に対して誇りとやりがいを持って子ども達の笑顔のために尽くしていくつもりです。

いろいろな“気づき”の機会にもなり、感謝しています。

### ⑥第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a・b・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・b・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・b・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・b・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>一人の職員が4～5名の子どもを担当する担当制をとっている。</p> <p>入所時の書類や保護者からの聞き取りを基に個々の特性を把握し、それに応じた養育・支援に努めており、定例の職員会や部会等で他職種の職員との情報交換により養育・支援の評価、改善を行っている。</p>	

(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a・b・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・b・c
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	a・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・b・c
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・b・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>入所時の関係書類や保護者からの聞き取りなどにより子どもの食生活状況を把握し、入所後の食事指導に活かしている。食事当番や掃除当番を定めて環境整備、清潔保持に努めている。</p> <p>また、定期的に衣服のサイズ調査を行い、個々の体格に合った衣類を整えている。</p>	

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	Ⓐ・b・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>地域の医療機関や関係療育機関のリストを作成し異常時に備えると同時に、嘱託医による健康診断などで健康維持に努めている。</p> <p>今後は、関係機関の協力を得るなどして障害のある子どもや年長児が多くなった実情に即した健康管理や療育、性教育への積極的取組みを期待したい。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・Ⓑ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・Ⓑ・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・Ⓑ・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・Ⓑ・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>年齢や能力を考慮しながら、身の回りの物は極力個人所有としている。アルバムなどの思い出の品についても、成長の過程を振り返ることができるように個人収納を基本としている。</p> <p>小遣い帳の記帳などにより自己管理能力を養っている。また、子どもが自主運営する定例の児童会で月目標の設定や反省、行事の打合せを行う等、自主性を尊重しながら自律性を育てている。</p>	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・Ⓑ・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・Ⓑ・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

中学生以上の子どもは、希望に応じて学習塾に通うことも選択でき、中学・高校生には、家庭教師をつけることもある。また、学習指導ボランティアも活用し学習支援に努め、学校と連携して個々の進学指導を行っている。さらに、高校を中退した場合の受け入れ企業の確保にも努めている。

職場実習や職場体験などの機会をさらに拡充し、子どもたちが希望する進路に進めるよう支援の充実を期待したい。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・ <b>b</b> ・c
(11) 心理的ケア	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	<b>a</b> ・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
心理療法担当者を配置し心理的ケアを実施するとともに、子ども間の関係把握を職員間で共有するなど予防的な対応とともに、問題発生の際の適切な対応に努めている。 施設内外との連携の取り方等について基本的なマニュアルの作成を望みたい。	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・ <b>b</b> ・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
入退所や家庭復帰、施設変更にあたっては児童相談所や市町などの関係機関、保護者などと十分な連携を取っている。退所後のケアについては、必要が生じた場合に対応している。 今後は、家庭支援専門相談員などによる計画的ケアの検討を期待したい。	

## 2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>入所時や入所後の面会、外出・泊、家庭訪問、必要書類の作成等、保護者との面談等を通じて、保護者との意思疎通、情報交換を図り、関係機関との情報交換も加えながら関係調整・再構築を支援している。</p> <p>今後は、連絡がつきにくかったり子どもとの交流の乏しい保護者へのより一層の働きかけを期待したい。</p>	

## 3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・ <b>b</b> ・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・b・ <b>c</b>
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・ <b>b</b> ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>入所時の関係資料や保護者からの聞き取り内容に基づき、各部署からの計画をまとめて一人ひとりの児童に応じた支援計画を立て、定められた見直し時期に職員会で評価し、更新している。支援計画は児童相談所にも送付し連携を取っている。</p> <p>計画の見直しや内容の統一、継続性を高めるため、見直し方法等についてのマニュアル等を作成するよう今後の取組みに期待したい。</p>	

## 4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a・(b)・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	(a)・b・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・(b)・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a・b・(c)
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	(a)・-・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・b・(c)
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a・(b)・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>事業計画等に理念や基本方針、養育・支援と標準的実施方法が記載され、就業規則等に養育・支援に関わるために求められる基本姿勢が記載されている。定例の職員会や部会では、子どもの支援検討を通じてそれらの実践を確認している。</p> <p>入所時に思想や信教を含めて、保護者から要望を聴取して対応に配慮をしている。</p> <p>子どもが自主的に運営する児童会を通じて子どもの要望や意見を把握し、職員会で検討するなど対応に努めている。</p> <p>年齢に応じて個室にしたり、不透明なガラスを使用するなど、可能な限りプライバシーの保護に努めている。</p> <p>今後は、プライバシーの保護、子どもの意向把握についての仕組み、対応などについての規程・マニュアルの整備を期待したい。</p>	
(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・(b)・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・(b)・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・(b)・c

(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・b・ <b>ⓒ</b>
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	<b>Ⓐ</b> ・--・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>関係機関や保護者に対し定期的に「通信」を送り、施設の状況や子どもの生活の様子を伝えている。</p> <p>入所時にはマニュアルに従い、緊張や不安に配慮して入所後の生活、面会、施設への要望・苦情の伝え方などの説明を行なっている。</p> <p>地域行事への参加や施設の多彩な行事を通じて、施設内外の人との交流を行い豊かな生活体験を図っている。</p> <p>子どもからの苦情に対しては、職員の経験に基づき適切に対応できているものを、今後、対応マニュアルとして文書化するなどのさらなる取組を望みたい。また、体罰等を行った職員に対する対処を規程に明記し、発生の予防や発生した際の適切な対応に活用されることを期待したい。</p>	

## 5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>事業計画に避難訓練に関する記載があり、マニュアルに沿って実施されている。また、ヒヤリ・ハットや事故報告も行われている。</p> <p>今後は、災害に対するマニュアルについて、災害別に整理するなどの取組に期待したい。また、ヒヤリ・ハットと事故報告を事故予防に活用するために、扱い要領の作成などさらなる工夫を望みたい。</p>	

## 6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	<b>(a)</b> ・b・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a・ <b>(b)</b> ・c
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・ <b>(b)</b> ・c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>関係機関のリストが作成され、職員間でも共有されている。</p> <p>子どもたちが通う学校の定例行事に出席するほか、事案発生ごとに連携を取って対応がなされている。また、地域小規模児童養護施設の開設、入所児の在籍校や地域との懇親・懇談会の開催、要保護児童対策地域協議会への参加など、地域との交流と福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>家庭支援センターやショートステイ等、施設の持つ機能の地域への提供にも努めているが、それらの周知にも努め、利用促進が図られることを期待したい。</p>	

## 7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・b・ <b>(c)</b>
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・ <b>(b)</b> ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・ <b>(b)</b> ・c



(特に評価が高い点、改善が求められる点)

外部の研修等に可能な限り職員を参加させ、研修した内容を報告することにより、職員全体の資質向上につながっている。

今後は、職員個々の興味や関心なども考慮しながら、施設にとって必要な人材の育成や技能の習得などを計画的に実施できるよう、中・長期計画の整備が望まれる。

## 8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
多角的な事業が実施され、利用者への効果的な支援となっているが、系統的かつ目的を明確に位置づけることにより、一層効果的になるものと思われる。運営理念、基本方針、事業計画を再整備のうえ、それに基づいた行事の計画、実施を期待したい。	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c

<b>(4) 経営状況の把握</b>	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	<b>(a)</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>関係書類やパンフレット類に施設長名を明記したり、職務分担表やマニュアル類に役割や責任について明示している。</p> <p>地域の関係組織への参加や、交流行事の実施などで地域との関係を深め、地域の状況把握を図っている。</p> <p>年度毎に事業報告を作成し運営状況の把握に努め、経費の節約等の工夫をしている。公認会計士による指導を受けていることは先進的取組みとして特に評価できる。</p>	

<b>(5) 人事管理の体制整備</b>	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a・ <b>(b)</b> ・c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・ <b>(b)</b> ・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<b>(6) 実習生の受入れ</b>	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>各種加算対象専門職の配置など職員態勢の充実を図るとともに、就業状況から健康状態を把握し、定期健診や心理士によるカウンセリング、親睦旅行の実施によって心身の健康や職場の人間関係の向上を図っている。</p> <p>一層の意欲向上、人材育成を図るため、人事考課基準を明示するなどの検討を望みたい。</p>	

<b>(7) 標準的な実施方法の確立</b>	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c

(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	a・ <b>b</b> ・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>標準的な養育・支援の項目、概要、留意点を記載した「指導指針」を作成し、一貫性と統一性のとれた養育・支援に努めている。</p> <p>今後、第三者評価に取り組むことにより、評価結果に基づく改善が一層促進され、よりよいサービスが提供されるよう期待したい。</p>	